

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-39 施設整備事業(汚水)					ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門					542	汚水管渠等の改築		
主管課	下水道課		関連課 作業センター、浄化センター、道水路管理課			542	汚水管路施設の耐震化		
分野名	下水道課・河川								
目標 (目標値)	老朽化した汚水管路施設の改築工事を行い、施設の延命及び浸入水対策を図る。 地震に備え、下水道施設の耐震化を推進する。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
	処理人口	171,024人	170,233人						
運営資源 状況	決算値	224,325千円	308,285千円						
	(国・県)	15,696千円	12,780千円						
	(負担金等)	193,600千円							
	(一般財源)	15,029千円	295,505千円						
	人員配置数	4.9人	3.4人						
	人件費	43,434千円	30,428千円						
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	267,759千円	338,713千円						
	市民1人当 りの経費	1,516円	1,919円						
	対象者1人 当りの経費	1,566円	1,990円						
	ベンチマーク (県内外自治 体や民間団 体との比較 値)	団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市		
	着手年	S33	S39	S30	S34	S38	20年度	実数	4,243
	処理開始年	S47	S48	S39	S41	S51	21年度	実数	3,565
	着手からの経過年数	51年	45年	54年	50年	46年	22年度	5,500	
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・既存施設の耐震化対策工法については、現在、種類や実績が少なく、また、施工条件も限定されるため選定に苦慮している。 ・台風により海岸線が浸食されたことで、早急に汚水幹線の改修等の対策を図る必要があることや老朽化による道路陥没等を未然に防ぐために予防措置を講ずる必要がある。							
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・問題点を改善するため引き続き、コンサルタントや下水道既設管路耐震技術協会所属の業者から情報を収集している。 また、研修に参加、他市の対応状況を確認している。 ・管理施設の測量や点検を実施し、施工方法等についてコンサルタント等に相談している。							
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 年度末に汚水幹線の一部が破損したため応急処置を施したが、当幹線はかなり流量が多いことから管更生の施工は難しく、現在対策方法を検討中である。							
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 汚水幹線の修繕工事については、予算の配分を変更し、実施設計を発注後、管更生に着手し市民生活に影響が出ないように努める。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性				評価結果	改善の必要性			
A	無	老朽化の進んだ施設の延命化を図るとともに、既設管路施設の耐震化を進める。			A	無	下水道施設の機能維持を図るとともに、耐震化を推進する。		
課長名		下水道課課長代理 宮崎 隆			部名・部長名		都市整備部 山内 廣行		